

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 128号

2015/2/2 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き

① 最高3月 LDN 市場£1,919 /3月 NY 市場\$2,743 (1/26,27) 先週比 LDN -115 / NY -199  
② 最低：3月 LDN 市場£1,900 /3月 NY 市場\$2,686 (1/23) 先週比 LDN -37 / NY -69  
週内価格差額 (①-②) : LDN 市場£19 (傾向↑) / NY 市場\$57 (傾向↑)  
週内建玉推移 : LDN 市場 245,056 枚(1/23 終了時) ⇒ 232,315 枚 (1/29 終了時) **-12,741 枚**  
NY 市場 200,543 枚(1/23 終了時) ⇒ 191,482 枚 (1/29 終了時) **-9,061 枚**

	2015/1/26(月)		2015/1/27(火)		2015/1/28(水)		2015/1/29(木)		2015/1/30(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
4-Mar	<b>1919</b>	2737	1914	<b>2743</b>	1902	2715	<b>1900</b>	<b>2686</b>	1905	2693
5-May	1899	2741	1893	2746	1880	2719	1877	2696	1881	2698
5-Jul	1893	2736	1886	2742	1873	2716	1869	2693	1873	2693

### 2、コートジ：地域による天候条件の格差、農家はミッドクロープに注目(1/26)

コートジのカカオ豆主生産地では先週、地域による天候の差がみられた。

西部ではほとんど雨が観測されなかったが、一方で東部、南部では気温が比較的高く適度な降雨があり、カカオ豆の成長を促進させた。

農家は「10月～3月のメインクロープは次第に終わりを迎え、4月～9月のミッドクロープへと人々の関心が移っている。コートジは11月中旬から3月まで続く乾季の真っただ中にある。この時期はほとんど雨が降らない。」と述べた。

10月1日にメインクロップが開始されてから1月25日までに、104万5000トンのカカオ豆がコートジの港へ着荷した。輸出業者の情報によると、昨年は106万7000トンであり約2万トンの減少となった。

コートジのカカオ豆生産地帯の中心である西部の Soubre 地区では、乾燥気候は続いているが、1年の内で最もカカオへのダメージが懸念され、ミッドクロップに悪影響を与えるとされるハルマッタンについては今のところ到来の兆候が見られなかった。

Soubre 郊外の農家は「今のところ、カカオの木は被害を受けていない。しかしこの先も雨が降らないとすると、カカオの木は弱っていくだろう。」と述べている。

コートジのカカオ豆生産量の4分の1を占める中西部 Daloa 地区では、連続した雨がしばらく観測されていないとの農家からの報告があった。

高品質なカカオ豆で知られる東部の Abengourou 地区では、乾季が続いた後に土砂降りの雨が降り、カカオの木にダメージを与えた。

農家から様々な声が寄せられている。「乾季の影響でカカオの木の一部の葉が散ってしまっている。雨さえ降ればこうした木を甦らせることができるだろう。今週、来週で少なくとも1回ずつ、シャワーの様な雨が降ることを望んでいる。」

「もはやこの時期に、十分なカカオポッドが木に実っていない。これは農家にとって収穫期の終わりを意味する。」などと述べている。

こうした中、南部の Agboville 地区、Divo 地区では十分な降雨が観測された。

同地区の農家は「我々はハッピーだ。ここ最近で3度も大量の雨が降った。それまでは枯れかかっていたカカオの木が元気を取り戻し、ミッドクロップに向けて花をつけるだろう。カカオの実がなり始めている。しかし我々が今注目すべきは、次のミッドクロップだ。ミッドクロップが良いスタートを切る為には、先の数週間でも雨が十分に降ることである。」と述べている。

### **3、ホンジュラス：政府によるカカオ育成プロジェクトが始動(1/27)**

ホンジュラスの農業事務局は、国内の5000件の農家に利益をもたらすプロジェクトを始めようとしている。このプロジェクトにより2015年から2017年までの2年間で2万ヘクタールの農地を増やす予定だ。

#### 4、ブラジル：2014年カカオ豆磨砕量

2014年12月のブラジル・カカオ豆磨砕量は1万7618トンであり昨年12月比で-15%、前月11月比で-0.2%となった。

2014年の磨砕量全体では2010年以来の低水準の23万3672トンとなった。

2014年	トン	袋(60kg)
12月	17,618	293,634
11月	17,656	294,274
10月	20,652	344,207
9月	20,844	347,399
8月	16,668	277,798
7月	19,472	324,525
6月	18,923	315,379
5月	18,714	311,891
4月	20,002	333,365
3月	21,172	323,916
2月	19,912	331,870
1月	22,039	367,329
2013年		
12月	20,777	346,286

#### 5、ベネズエラ：バリナス州の中小規模農家、2,000ヘクタールでカカオを栽培

ベネズエラ・バリナス州の210件の小規模、中規模農家は2014年～2015年に渡って2,000ヘクタールをカカオ農園として耕す予定だ。

政府関係者は農家に対して、1ヘクタールあたり500kgのカカオ豆が収穫できるよう期待を寄せている。地方行政当局は、技術支援、機械の設備投資、資金援助により農家を助けるために適切な手段を検討している。

加えて、政府は2014年～2015年の2年間の間に17万9000ヘクタールの農地にカカオを植え付けるため、バリナス州の農家に6億400万ドルの資金供与をすることを決めた。



バリナス州

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp